### 次の10年に備えて

### 1.「求めない」

今日、7月11日は私の満71才の誕生日です。昭和24年生まれなのでセミナーのつかみで「セブンイレブンは24時間営業」と自己紹介していました。また、自虐的な表現で「3大悪徳ビジネス」と言って詐欺事件に登場する事が多いのが経営コンサルタントと言っていました。こんな私ですが、お陰様で経営コンサルタントとして先週創業25周年を無事に迎える事ができました。

右掲は、私の心境に大きく影響を与えた詩人の加島祥造さんの「求めない」と題した詩集の表紙です。2007年に出版されており、この題にグサッと心に響いたのです。2004年から静岡のお客様と一緒に初めた「オール電化」推進プロジェクトが破綻して後処理に追われていた頃で、資金的にもどん底を味わった頃です。いろんな方と進めたプロジェクトなので後始末に資金をつぎ込む状況で、いろんな事で思い悩んでいたので「求めない」という言葉で悟ったのです。

人に期待するから結果が伴わず、それが悩みとなっていると気づいたのです。人への期待値を下げる事で結果がよく見えるように変わったのです。この悟りで気が楽になり、自社の「V字回復」のシナリオが見えて来たのです。まず、出費を極力下げる、つまり、役員報酬を最低限の月10万円に変えて社会保険料を最小化したのです。社員であった今は次男の嫁になっている方にも給与を下げて頂いて支出を極限的に抑えたのです。これで「赤字体質」から抜け出すキッカケが出来たのです。当然、役員報酬は未払いで凌ぐこともあったのです。



# 2. 「笑っちゃう」

右掲の年表にあるように事務所と自宅のローンを完済して、駐車場を入れて月4万円の管理費で事務所・自宅・駐車場が賄えることになったのです。2つのローンは月15万円だったので非常に楽になり、60才になって年金基金も頂けるようになると文字通り「V字回復」の軌道に乗り始めるという「運気」に変わりました。

まず、小冊子「ちょっとの差」をWeb出版して、気分的に心の整理を行ない、さらに、お客様の薦めもあって商工会議所に入会してセミナー講演も行えるようになり、さらに、京都のお客様2社が中小企業家同友会で活動しておられたので、その理解を深めるために再入会しました。

	19年	07年	・オール電化推進プロジェクト終了	\$16
	20年	08年	自宅のローン完済	
		_	「ちょっとの差」Web出版	
			大阪商工会議所人会	经
	21年	09年	年金基金	姿
			三男 自宅待機	
	22年	10年	・丸福産業	京
			三男 入社	
	23年	11年	恵美さん次男と遠距離恋愛で結婚	
	24年	12年	事務所ローン完済	
			・同友会再入会	
			・経営革新計画承認	
	26年	14年	妻が急死	经
	29年	17年	「ちょっとの差」製本	
			将男、彦根へ(半年)	人
	30年	18年	日本政策金融公庫(商工会議所)	7
			·丸福產業 業務委託契約	Ξ
0	元年	19年	満70才	
	7年	25年	事業承継(予定)	

再入会というのは2000年に半年間だけ入会していましたが、社内のゴタゴタで中小企業家同友会活度の意義を見出せないまま退会していたのです。再入会するとFaceBook(FB)の活用で会員の動きが良く理解できるようになり、自分もFBを始めたのです。このお陰で公開ダイエットに挑戦して94kgになっていた体重を77kgまで下げる事ができたのですが、余りに急激だったので亡き妻が「病気ではないか」と気遣うようになり、その後は維持するようにしています。

「人」との出会いが変わると「運気」も変わるようになり、会社は現在12年間連続黒字決算を続けています。頻繁にATMに行って現金の移動をする必要もなくなって、年金も頂けるようになり、その部分が貯金となって、一般的なサラリーマンの方が年金生活の為に貯蓄している平均値に届くようになったのです。この余裕から心境も変化が起こりました。実は、2010年に三男が入社したのですが、いろんな事情から本人のモチベーションに問題があったのです。この悩みは心理的にイライラさせるものなので余りよい状況ではなかったのですが、ラジオ放送で「笑うとよい」とヒントを得て「笑っちゃう」と内心で囁くようにしたら表情が和らぐようになったのです。シンプルな事ですが、親子の関係ですが非常に改善できました。

## 3.「埋没原価」

「求めない」から転じた心境の変化ですが、「笑っちゃう」という事で親子関係も良くなりました。これから80代に向けて毎日の積み重ねで10年先の世界が大きく変わります。現状は、嫁に先立たれており、3月に亡くなった母の家をリフォームして社宅化して同居していた三男が住む事になりましたので、仕事は同じ事務所で行ない、昼食・晩食を一緒にするがその他の生活は自立して行うことになりました。つまり、自宅では一人生活になるのです。

右掲は、現在使用中の電化機器です。まず、「衣」では全自動洗濯乾燥機が大いに役立っています。晩に入浴後、翌朝7時を目途に洗濯乾燥が終わるようにタイマーセットしています。これでベランダで洗濯物を干すという仕事から解放されています。「食」では、電気炊飯器で夕方5時半に炊きあがるようにセットして、同時に、電気圧力鍋をタイマーセットしています。このタイマー機能で夕食の準備を10分程度で出来るようになっています。

全自動洗濯乾燥機 電気炊飯器 電気圧力鍋 ノンオイルフライヤー ふとん乾燥機

また、ノンオイルフライヤーは、冷凍食品をオイルを使わずに調理してくれてデトックス効果を発揮しています。「住」ではふとん乾燥機が意外に重宝しています。

このように、「衣・食・住」の全分野で家電品を使って重宝していますが、問題は、家のメンテです。例えば、掃除は掃除機で済ます事が多いですが、ホコリの問題が意外に厄介です。また、お風呂場の掃除も入浴後に風呂桶や洗い場を拭き掃除していますが、厄介なのは、ベランダや玄関付近の清掃なのです。普段は意識していないので、今後は定期的に掃除したいです。カビ対策もあるので、なおさらです。

このように、日常生活の大部分を自分で行っているので「お金」を外部に出すというケースが少ないです。残るは、テレビやクルマというジャンルです。テレビは32インチの物で、2011年に完全地デジ化の際に、政府がエコ商品クーポンを発行した時の物です。今や大画面化や4k8kと高画質化の時代ですが、元来、テレビ依存症でもないので十分だと思っています。長期使用の点ではエアコンは2001年に人数が多くなって一時期別の部屋を借りた際に購入した物を使っています。20年物ですが夏場の晩だけなので、十分に使用に耐えています。クルマも2001年に購入した物を使っています。トヨタ改善の言葉に「埋没原価」がありますが、求める機能を発揮できるなら最新鋭である必要がなく、古い機械なら減価償却済みなので使えば使う程儲けになるという考え方に近づいています。

#### 4. 「曇り時々晴」

「百歳現役」を目指して、今の努力は10年先の健康につながると信じて日常を組立ています。まさに、トヨタ改善の「品質は工程で作り込め」を実践しています。例えば、肉体的なフレイル対策としては、自宅と事務所の距離は直線では約500mですが、遠回りして往復するようにしています。昼も自宅で頂いているので2往復するので最低のコースでも片道1.3kmなので5.2kmになります。途中、昼休憩を兼ねて「一人カラオケ」を30分楽しむようにしています。また、同じように、30分主義で約2.5kmのコースも織り込んで月間200kmを目標にしています。

従って、結構、毎日のパターンが出来ているのでストイックな面があります。単調になりますので、意識的に違ったパターンを取り入れて変化をつける必要があります。自分一人では難しいので、地域社会に貢献する為に老人会の世話をして、仕事以外の課題を持つようにしています。同じように、商工会議所の経営サロンや中小企業家同友会に参加して異業種との交流会にも参加して彩を加えています。

京都のお寺の言葉ですが「曇り時々晴の人生」を噛みしめています。「晴」の内容は様々ですが、毎日「晴」という方もいらっしゃると思いますが、それでは本当の「晴」を味わえないと思います。「求めない」「笑っちゃう」「埋没原価」「曇り時々晴」を実践して行きます。